



鳥取県内の経済情勢

令和8年8月5日

財務省中国財務局
鳥取財務事務所

お問い合わせ先

鳥取財務事務所 財務課長 高嶋

電話 0857-26-2295

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回 比較
総括判断	持ち直しに向けたテンポが 緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが 緩やかになっている	→

（注）8 年 7 月判断は、前回 8 年 4 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、弱含んでいる。

【各項目の判断】

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回 比較
-----	---------------	---------------	----------

個人消費	回復に向けたテンポが緩やかになっている	回復に向けたテンポが緩やかになっている	→
生産活動	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	→
雇用情勢	弱含んでいる	弱含んでいる	→

設備投資	7 年度は前年度を下回る見込み	8 年度は前年度を上回る見込み	↗
企業収益	7 年度は減益見込み	8 年度は減益見込み	→
住宅建設	前年を上回る	前年を下回る	↘
公共事業	前年度を上回る	前年度を下回る	↘

【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を引き続き注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復に向けたテンポが緩やかになっている」

百貨店販売は、衣料品などが不調であることから、前年を下回っている。

スーパー販売は、精肉などが好調であることから前年を上回っているものの、節約志向の高まりにより菓子などの買い控えの動きがみられている。

コンビニエンスストア販売は、値上げにより売上金額が伸びていることから前年を上回っているものの、節約志向の高まりにより来店客数の伸び悩みがみられる。

ドラッグストア販売は、新規出店効果などにより、前年を上回っている。

ホームセンター販売は、建築資材などを確保する動きが続き、前年を上回っている。

家電大型専門店販売は、エアコンなどが好調であることから、前年を上回っている。

乗用車販売(新車登録・届出台数)は、普通乗用車が好調であることから、前年を上回っている。

主要観光地の入込客数は、観光需要の高まりが続いていることから、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 衣料品は、物価高による節約志向の高まりから高額品に対する需要の低迷が続く中、商品の供給不足や気候と売場展開・商品構成のミスマッチなども重なり、婦人服を中心に引き続き減少している。(百貨店)
- 精肉は、ガソリン価格高騰などの影響により来店頻度が減少する中で、まとめ買いの需要が高まり大容量パックが伸長。一方で、菓子や酒類などの嗜好品は、物価高による節約志向の高まりを受け、買い控えの動きがみられた。(スーパー)
- 値上げに伴う客単価の上昇により売上は前年を上回ったものの、節約志向の高まりから来店客数の伸び悩みがみられたほか、メーカー品を中心に買い控えの動きもみられた。(コンビニエンスストア)
- 新規出店の効果により売上を伸ばしている。品目別では、中東情勢の影響による供給不安を背景に、ポリ袋や台所用品などの日用品でまとめ買いの動きがみられた。(ドラッグストア)
- 中東情勢の影響による供給制約を受け、業者が建築資材、塗料・接着剤などを確保する動きが続いている。一方、個人客では、日用品を前倒しで購入する動きがみられたものの、その反動から足下の販売は伸び悩んでいる。(ホームセンター)
- エアコンは、「エアコン2027年問題」を見据えた需要の高まりを背景に好調に推移。(家電大型専門店)
- 物価高や中東情勢の影響によるガソリン価格高騰などを背景に、近距離、低価格な旅行への需要が高まっており、国内客を中心に宿泊客数が増加している。(宿泊)

■ 生産活動 「一進一退の状況にある」

食料品は、土産用菓子の需要が好調であることから、増加している。

電子部品・デバイスは、半導体製造装置向けの需要が好調であることから、増加している。

パルプ・紙は、国内外ともに需要が低調であることから、減少している。

電気・情報通信機械は、家電製品の受注が減少していることから、減少している。

汎用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置の受注が増加していることから、増加している。

- 土産菓子需要の好調が続く中、新規採用者の配属により生産体制が強化されたこともあり、生産量は増加。中東情勢の影響で包材価格が大幅に値上がりしているものの、調達不足は生じていない。(食料品)
- AI・データセンター需要の拡大を背景に、半導体製造装置向けの受注が大幅に増加している。一方、中東情勢の影響で溶剤などの調達に制約が生じており、今後の増産に支障を来すおそれがある。(電子部品・デバイス)
- 国内需要が低調に推移する中、中東情勢の影響による海上運賃の上昇を受けて値上げを行ったことから、海外需要も落ち込んでいる。(パルプ・紙)
- 納入先が一部家電の国内製造を終了したことを受け、当社の製造も終了することとなった。(電気・情報通信機械)
- 円安による輸出環境の改善や海外の人件費上昇を背景に、納入先である一部の半導体製造装置メーカーが製造拠点を国内回帰を進めており、当社の受注も増加している。(汎用・生産用・業務用機械)

■ 雇用情勢 「弱含んでいる」

人手不足の声が引き続き聞かれる中、有効求人倍率は上昇しているものの、新規求人数は減少していることから、雇用情勢は弱含んでいる。

- 最低賃金の引き上げなどにより人件費が高騰している中、先行きに対する不透明感もあり採用に慎重となっている結果、慢性的な人手不足となり全客室の稼働が出来ない状態が続いている。(宿泊)
- 人手不足と人件費高騰との双方に対応するため、勤務日数を減らす代わりに一人当たりの勤務時間を伸ばした結果、一人体制での店舗運営が常態化している。こうした中、セルフレジの導入などによる省人化の取組みを進めている。(小売)
- 受注が増加し増産が見込まれているものの、先行きに対する不透明感もあることから、増員ではなく既存従業員の多能工化により対応する方針。(生産用機械)
- 人手不足の声が引き続き聞かれるものの、最低賃金の上昇による人件費負担の高まりや省人化の取組みが進展していることなどから、求人を控える動きが進行しているように感じられる。(職業紹介)

■ 設備投資 「8年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 製造業では、生産用機械などで減少するものの、パルプ・紙、電気機械などで増加することから、全体としては増加見込みとなっている。
- 非製造業では、金融・保険などで増加するものの、運輸・郵便、サービスなどで減少することから、全体としては減少見込みとなっている。

- 定期的に実施している修繕のほか、既存設備の大規模な改修を実施する予定。(パルプ・紙)
- 昨年度、新規事業にかかる設備投資を実施した反動減。(運輸・郵便)

■ 企業収益 「8年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 製造業では、食料品などで増益となるものの、情報通信機械、パルプ・紙などで減益となることから、全体としては減益見込みとなっている。
- 非製造業では、サービスなどで増益となるものの、農林水産、建設などで減益となることから、全体としては減益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、貸家、持家が減少していることから、前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回る」

- 前払金保証請負金額(年度累計)でみると、前年度を下回っている。

鳥取県内の経済情勢

[資料編]

	(ページ)
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	5
6. 住宅建設	6
7. 公共事業	6

令和8年8月5日

財務省中国財務局
鳥取財務事務所

お問い合わせ先

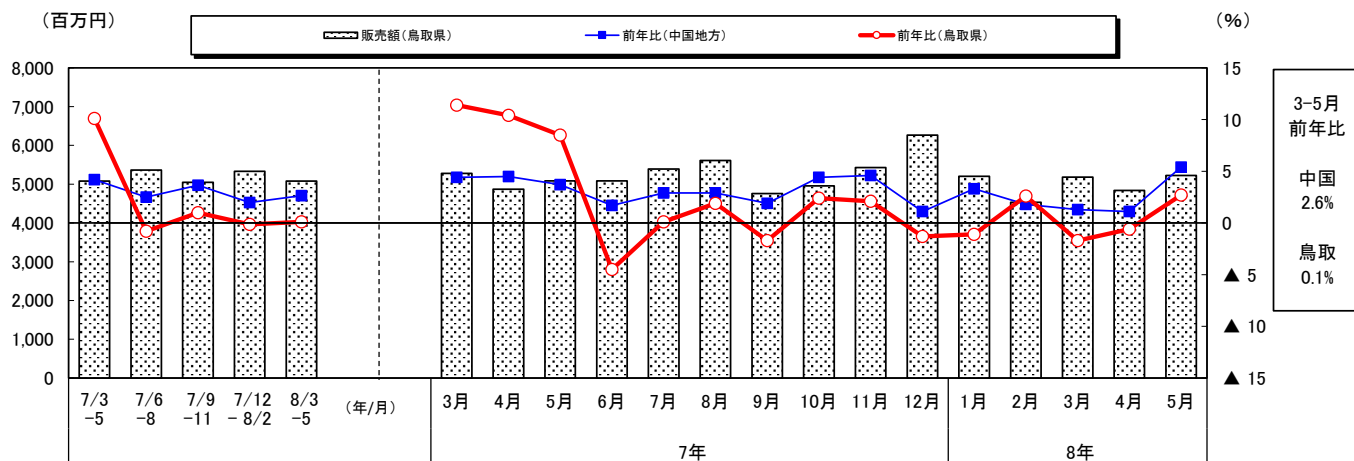
鳥取財務事務所 財務課長 高嶋

電話 0857-26-2295

1. 個人消費 回復に向けたテンポが緩やかになっている

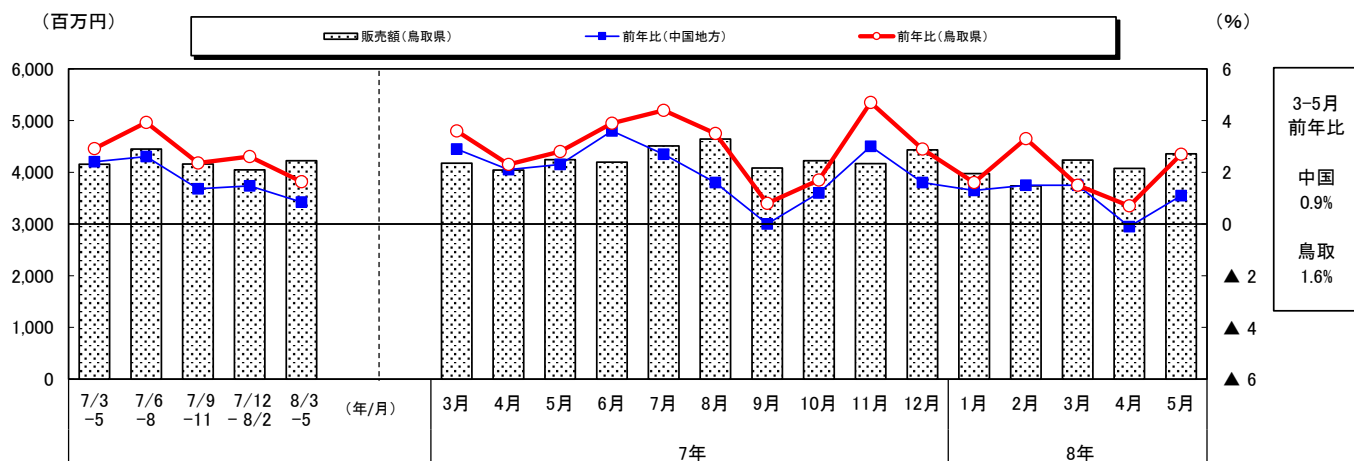
(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示

(1) 百貨店・スーパー販売(全店舗)



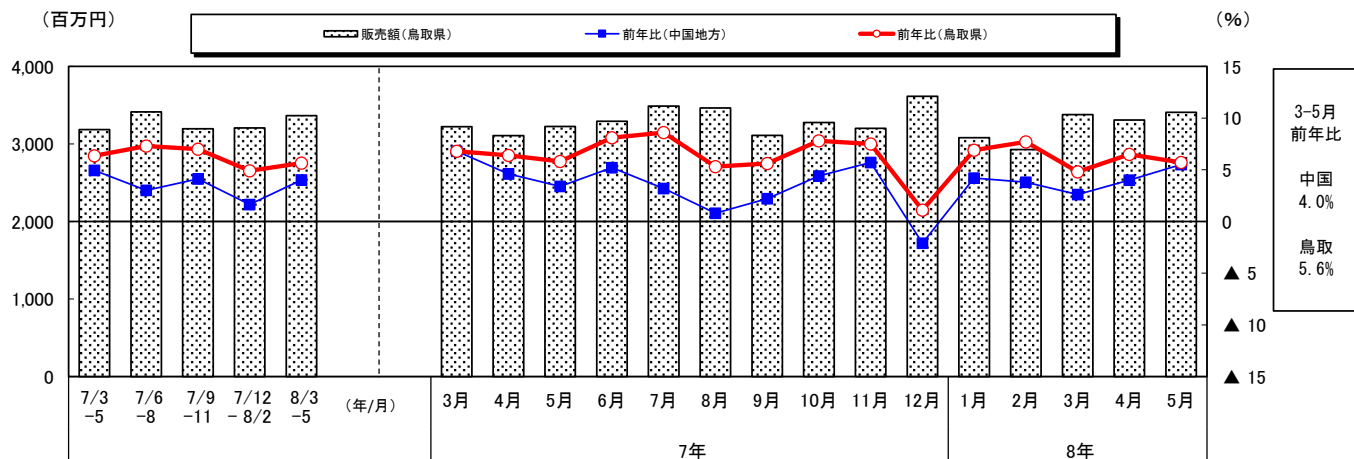
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(2) コンビニエンスストア販売(全店舗)



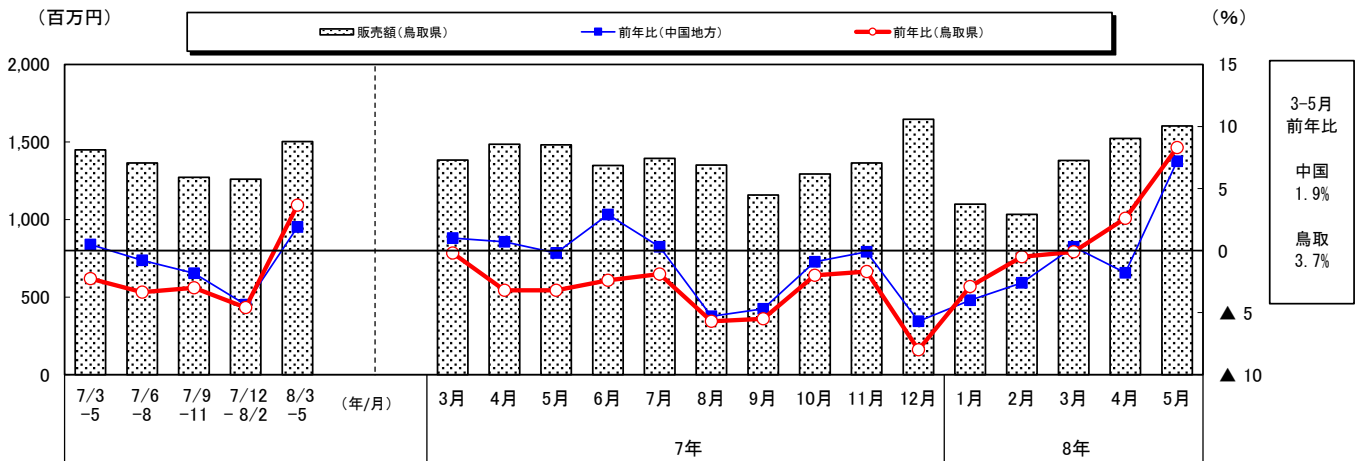
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(3) ドラッグストア販売(全店舗)



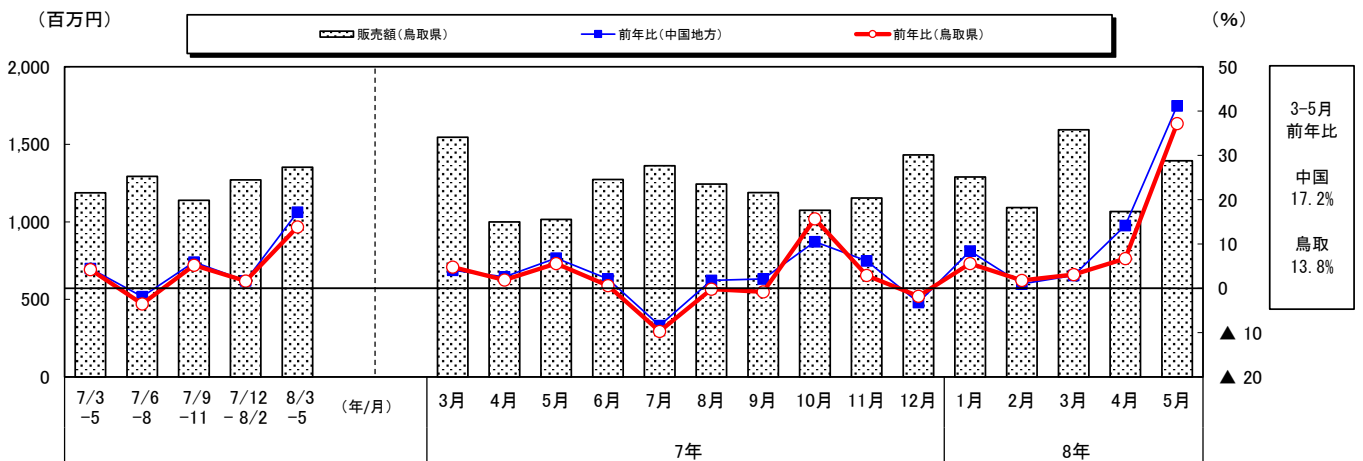
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(4) ホームセンター販売(全店舗)



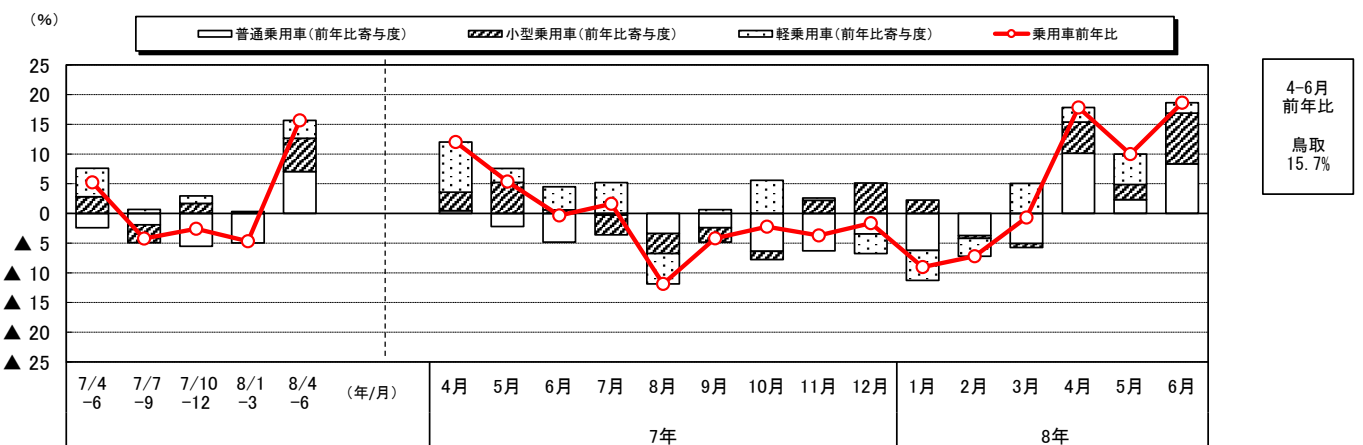
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(5) 家電大型専門店販売(全店舗)



(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

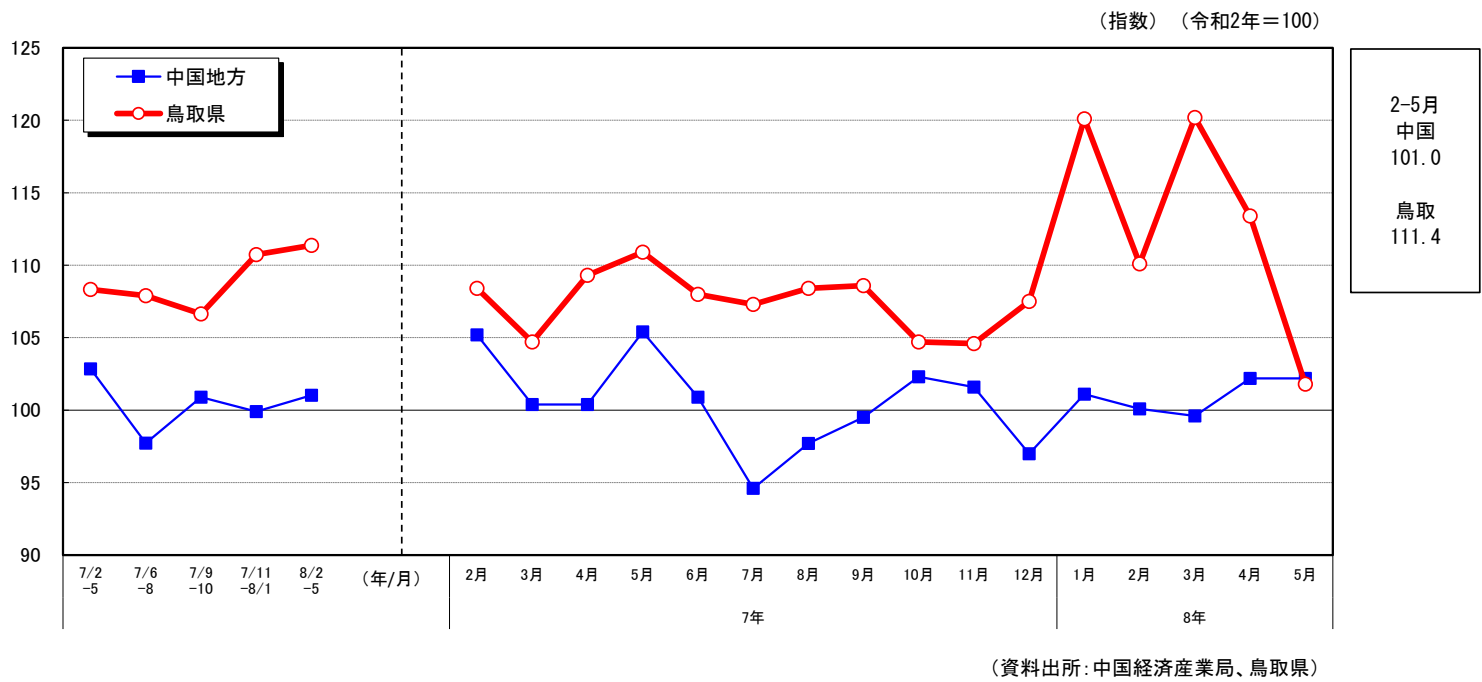
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



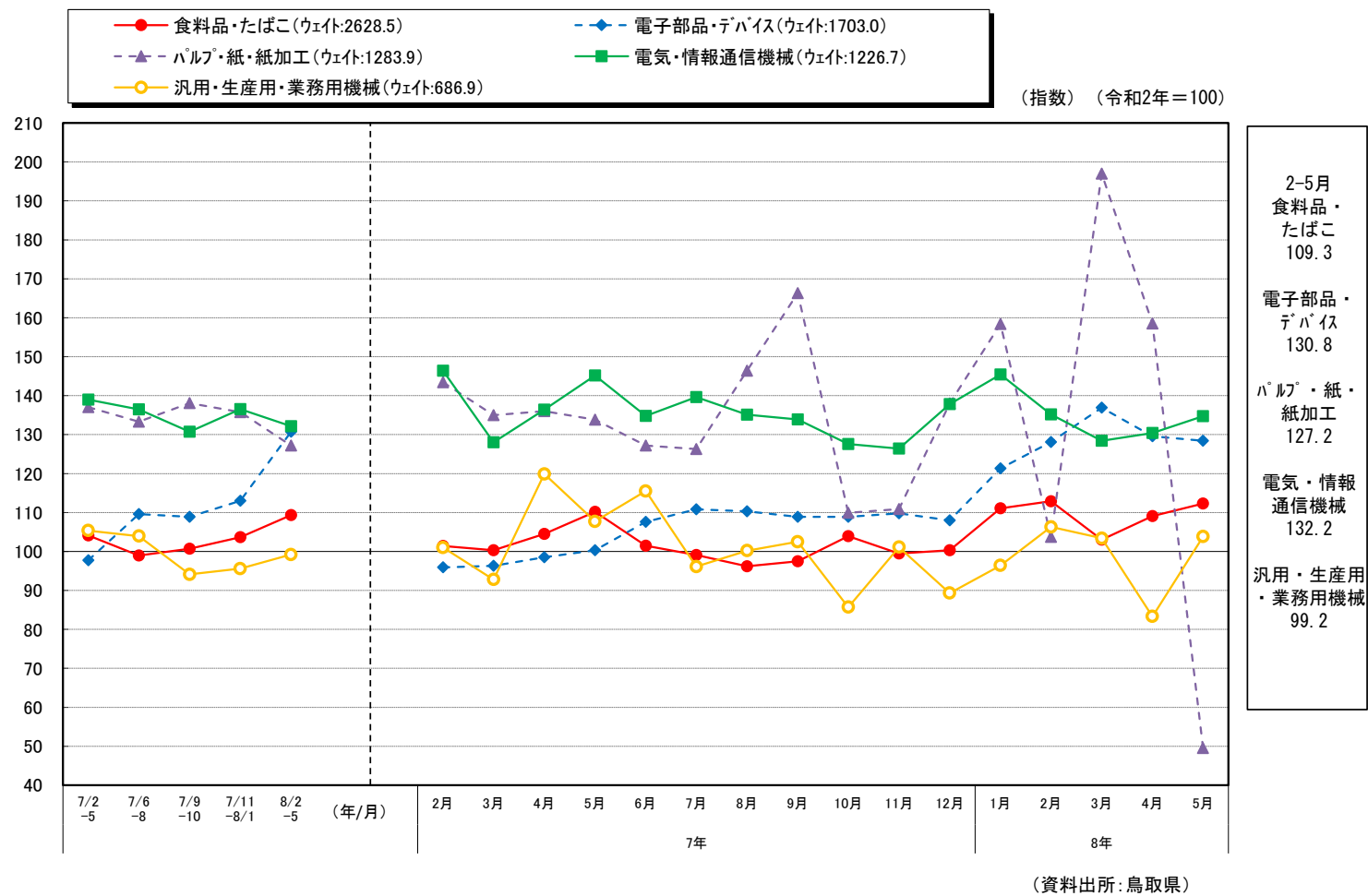
(資料出所:中国運輸局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会)

2. 生産活動 一進一退の状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



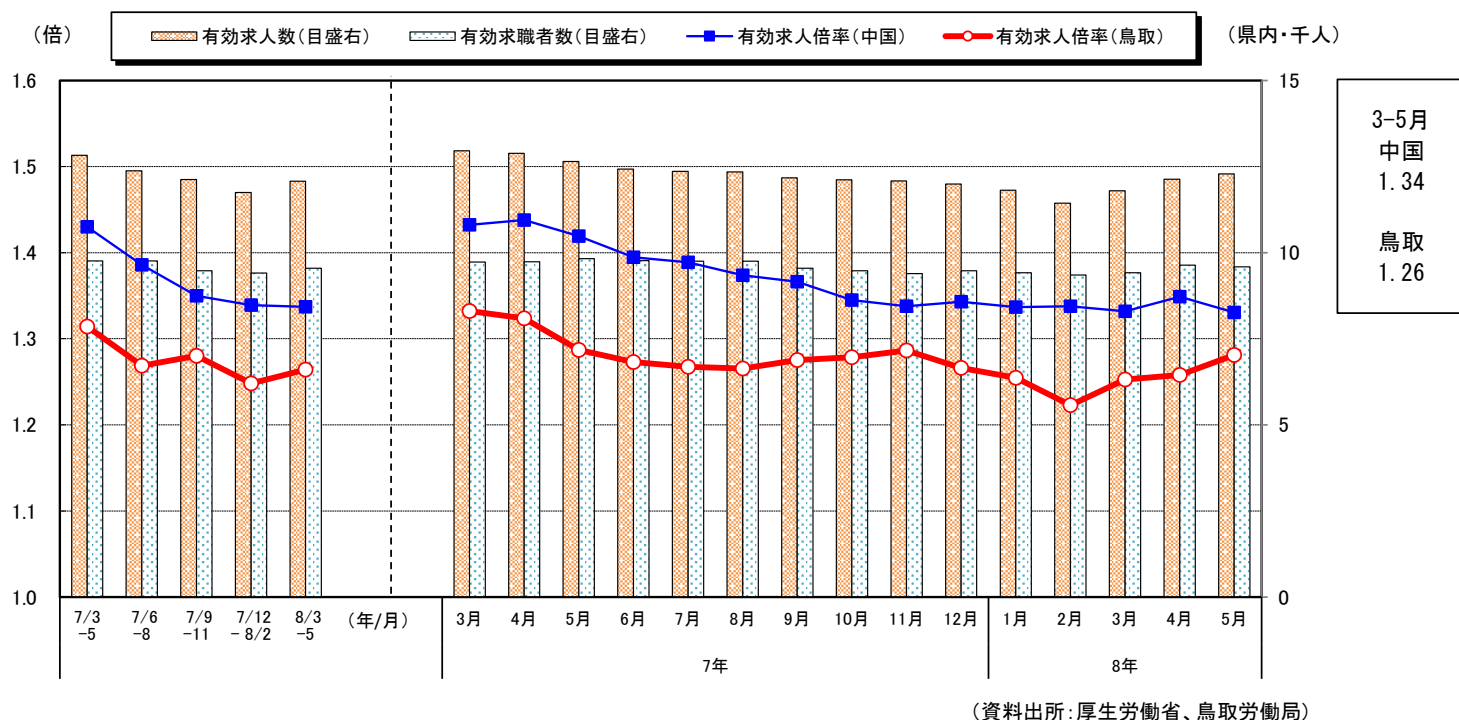
(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)



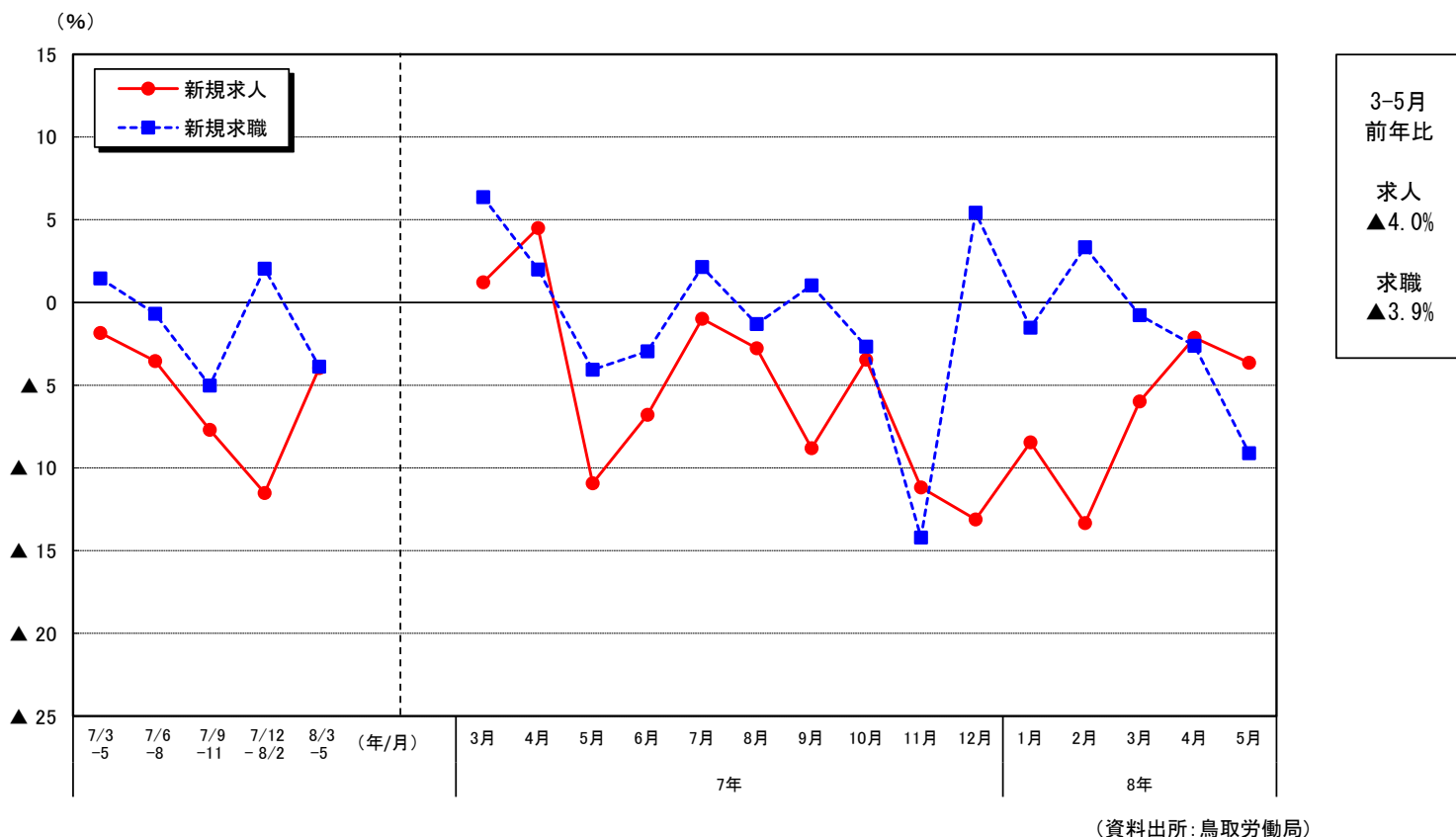
3. 雇用情勢 弱含んでいる

(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

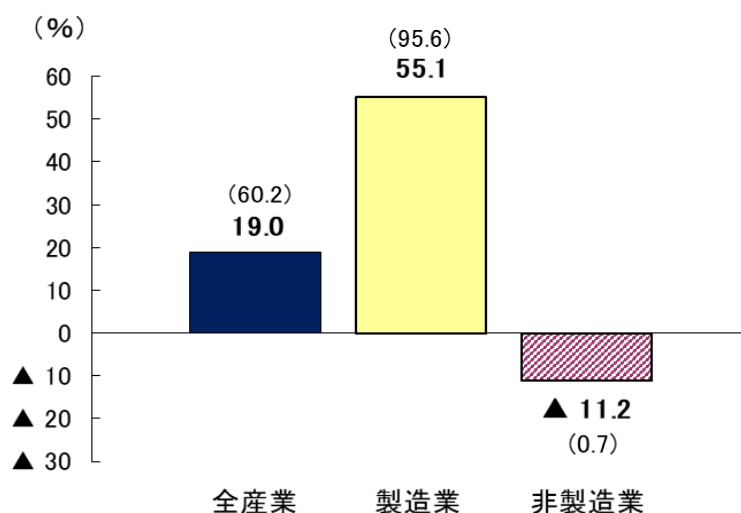


(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



4. 設備投資 8年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

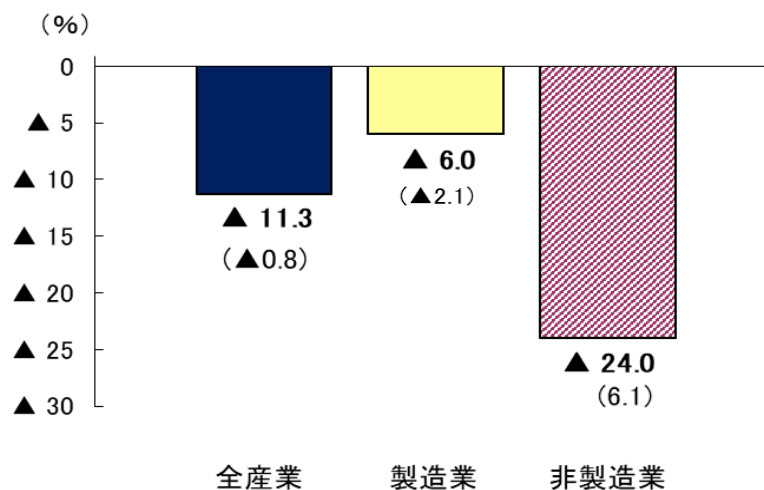


(注) 1. 調査実施時点は令和8年5月15日
2. ソフトウェア含む、土地除く
3. ()書きは前回(令和8年1~3月期)調査結果

(資料出所:鳥取財務事務所)

5. 企業収益 8年度は減益見込み

経常利益(前年度比)

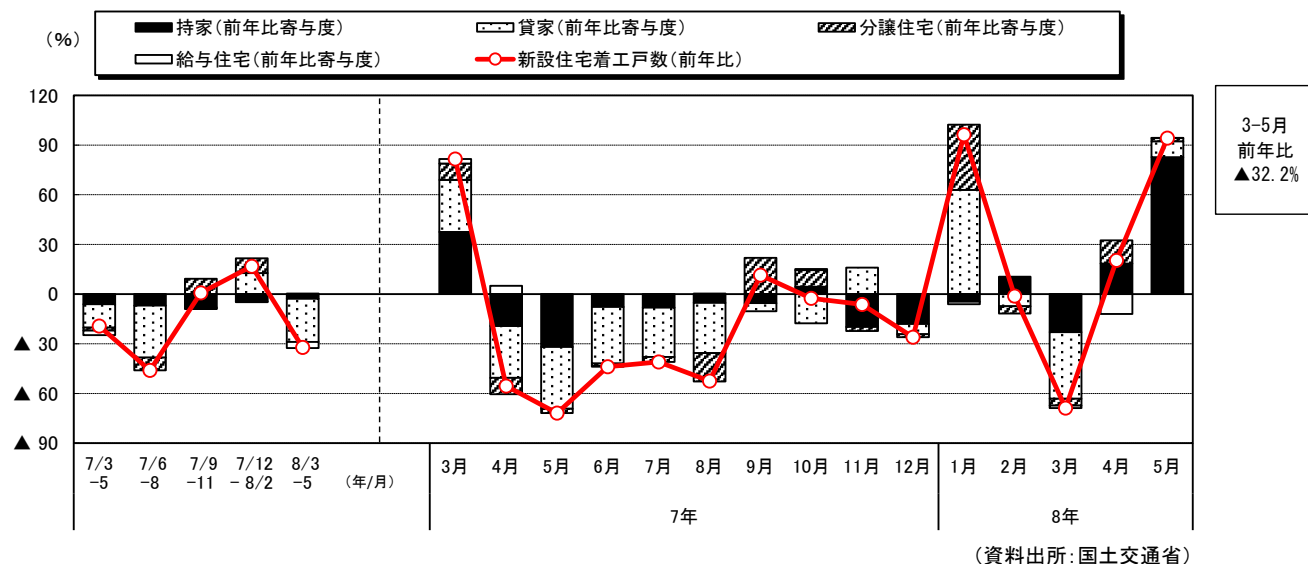


(注) 1. 調査実施時点は令和8年5月15日
2. 電気・ガス・水道業及び金融業・保険業を除く
3. ()書きは前回(令和8年1~3月期)調査結果

(資料出所:鳥取財務事務所)

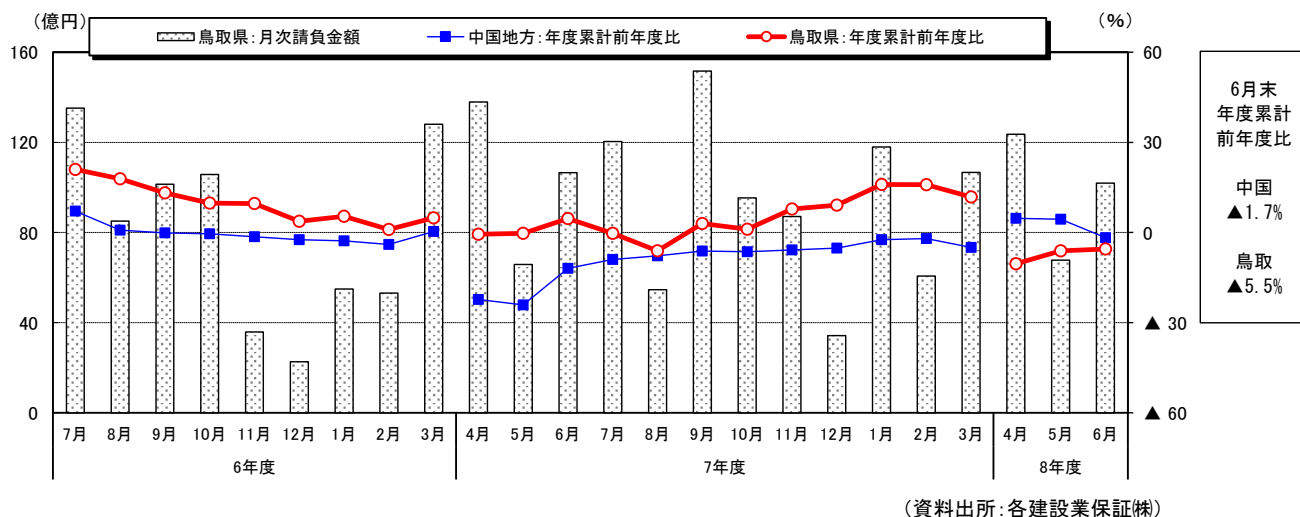
6. 住宅建設 前年を下回る

新設住宅着工戸数(前年比)



7. 公共事業 前年度を下回る

(1) 公共工事前払金保証請負金額(月次請負金額、年度累計前年度比)



(2) 公共工事前払金保証請負金額(月次請負金額前年比、発注者別寄与度)

